

天草市政だより

自分に負けないぞwww!

主な内容

- 平成26年度施政方針 2～10
- 平成26年度 市の主な取り組みを紹介！ ... 11～13
- 副市長・教育長就任のごあいさつ 14
- 「天草の崎津集落」世界遺産登録への道 15
- 所有・使用している家屋は
老朽危険家屋になっていませんか ... 16～17
- 検診で早期発見！子宮頸がん・乳がん 18～19

平成26年

8/1

No.200

平成26年度

施政方針

6月2日から同20日まで開かれた第4回市議会定例会の冒頭で中村市長が述べた、市政運営の方向性を示す「平成26年度施政方針」の主な内容をお知らせします。

市民目線の行財政改革

人口減少や少子高齢化が進む本市にとりまして、限られた財源で市民が必要としているサービスを提供するために、効率的・効果的な行財政運営を行うことがたいへん重要となっております。

厳しい財政予測を踏まえて、持続可能な行財政運営をいっそう確立するために、平成27年度からの4年間で推進期間とする「第3次行財政改革大綱」を策定しますが、これまでに以上に、市民目線に立った行財政改革に取り組み決意でございます。

具体的には、個々の事業の内容をよく吟味し、見直すもの、拡大するもの、圧縮するもの、廃止するものを明確にしたいと考えています。

また、市有財産の適正な管理運営については、施設の有効活用、統合、廃止など、地域と話し合いをしながら進めてまいります。

まちづくりについては、住民の皆様が主体となつて、生きいきとした個性あるまちづくりを進めていただくことが肝要です。そのために、まちづくり協議会会員等で構成される「まちづくり審議会」に地域ごとのまちづくりについて諮問し、地域住民の皆様の要望、意見等を反映させたまちづくり計画を答申していただきたいと考えています。

これを受けて、まちづくり協議会には、計画の実施、イベント事業の見直しなどを行っていただきますが、本市としましては、地域の特性が生かされるよう専門アドバイザーの派遣を行うなどの支援と、平成27年度からの「地域活性化交付金」の創設に向けての制度づくりを進めてまいります。

支所機能の充実については、これまで支所に寄せられた市民の方々からの要望の、その後の

対応状況等について整理を行っているところですが、本年度は支所で所管している既決の予算を活用し、市民の皆様の身近な問題・要望は、支所において迅速に対応・解決できる体制としてまいります。来年度からの本格的な実施に向けて、権限、予算などのあり方について検討を進めてまいります。

なお、国においても、支所が住民サービスの維持向上や災害対策等に重要な役割を果たしていることに着目し、これらにか

かる経費を平成28年度から新たに交付税に算入することとしています。

このようなことを踏まえ、さらに効率的な市政運営を行うため、支所を含めた組織機構見直しの検討も進めてまいります。

本庁舎建設については、私の選挙公約のひとつとして、「アートポリス事業での本庁舎建設を取りやめ、必要最小限の規模で十分な機能を発揮できる本庁舎を建設します」と掲げ、延床面積の縮小やシンプルな庁舎建設に努めることにより、本体工事費40億円、総事業費で48億円にすることを目標にしております。

庁舎本体については、延床面積は縮小しますが、防災機能や周辺住民の方々が避難場所として使用できる会議室等のスペースは必要となりますので、そのスペースを確保するためにも、近隣支所の空きスペースや新館部分の活用も検討したいと考えています。

現在、熊本県や設計業者と私の選挙公約の実現に向けて協議



▲市役所本庁舎

強力な経済対策

を重ねているところですが、今年度中には、市独自による本庁舎建設に着手したいと考えております。

市長等の給与等の削減については、削減した財源で事業推進

強力な経済対策については、第1次総合計画に掲げてあります「豊かな産業づくり」、交流人口の拡大を目ざした「魅力ある観光地づくり」を、さらに、積極的に推進していかなければならないという決意から、7事業を掲げさせていただきます。

まず、足腰の強い農業づくりとしましては、6次産業化やブランド化による農産物の高付加価値化による農業所得の向上に取り組みとともに、生産技術の向上による収量アップ、安全・安心な農作物の生産・供給体制の構築を図るため、JA本渡五

のスピード化を図ることをお約束しておりますので、先の臨時会におきまして、私の給与および退職金に係る条例改正をご提案し、ご理解いただいたところでございます。

和、JAあまくさと連携をとりながら、積極的な支援を行ってまいります。

また、喫緊の課題であります担い手の確保策としましては、現在、国が進めています「人・農地プラン」を推進し、集落営農への組織化や担い手農家への農地集積により、経営規模の拡大と経営安定を図ってまいります。

さらに、国による青年就農給付金事業、および、国の給付金制度が活用できない方に対する市独自の給付金制度を継続するとともに、農業を支える担い手の育成機関として、新規就農者

のために農業技術の研修等を行う「農業担い手公社」の設立に向け取り組んでまいります。

これらの施策の展開により、4年間で100人の新規就農者の確保、10社の農業参入企業の確保に努め、50人の雇用拡大を図ってまいります。

また、農業後継者への支援策としましては、今年度から婚活事業を実施し、農業者の意欲向上と農業経営の安定を図ってまいります。

林業の振興としましては、天草産材を利用した新築・増改築に対する助成制度により、天草産材の積極的な利用を促すほか、公共施設における天草産材の活用促進、さらには、さまざまな森林資源を活用した特産品づくりによる需要拡大を図りながら、持続可能な森林経営の促進と林業の活性化を図ってまいります。

水産業の振興としましては、「天草の魚」の認知度の向上を図るための宣伝活動や、キャスシステムなどの急速冷凍システムの導入に向けての調査・検討

を行ってまいります。

また、荷さばき施設ごとのブランド化や女性グループ等による加工品の研究開発、販路開拓などを推進し、新たな物流体制の構築に取り組むことにより、水産業の振興と活性化につながる雇用の拡大に努めてまいります。

また、牛深地区水産物流通荷さばき施設整備については、国、県とともに支援を行い、水産物の安全・安心な供給体制の確立と県下最大の水産基地としての役割を担う牛深地区の振興を図ってまいります。

さらに、藻場造成、築いそ、稚魚放流など、漁場環境保全のさらなる充実を図るとともに、漁業者による資源管理型漁業を促進してまいります。

また、後継者や新規就業者の確保対策、養殖漁業や水産加工業の振興の各種支援を行いながら、4年間で新規就業者10人の確保に努め、持続可能な水産業づくりを目ざしてまいります。

雇用の場づくりとしましては、商工会議所、商工会、金融

機関など地元関係機関と連携し、地域密着型、ワンストップ型の起業創業支援を行う「起業創業支援センター」を設立し、起業に必要なノウハウを習得する起業塾等を開催してまいります。

また、「起業創業支援センター」では、地域の中小企業の強みを伸ばすための具体的な提案や継続的なフォローなどを行う、強み創造型のビジネスサポートを展開してまいります。

このような起業家および地域の中小企業に対する充実した支援体制の構築により、4年間で100の法人設立と300人の新たな雇用創出に努めてまいります。

また、新たに業を起こす場合の初期投資にかかる負担を軽減することを目的に「起業創業チャレンジ基金」を創設し、円滑な事業展開を支援してまいります。

さらに、本年4月の消費税率8%への増税後の緊急経済対策として、住宅リフォーム助成事業を新たに創設します。



イルカウォッチング

これは、住宅リフォームに係る経費の一部を、市内の商店等で使用できる商品券として助成するもので、これにより、消費活動の落ち込みを下支えし、経済活動の活性化を図ってまいります。

観光は、裾野の広い総合産業といわれており、交流人口の増加は、一次産業を始めとする各種産業への経済波及や雇用創出効果が見込まれるほか、まちのにぎわいや、地域への誇りを醸成することにもつながります。

そのため、年間観光入込客数400万人を目標に、各種施策に取り組んでまいります。

特に、天草の観光の目玉となっているイルカウォッチングについては、さらなる観光客誘致につなげるため、仮称「イルカセンター」の整備に向け、関係者や関係団体との協議や調査を進めてまいります。

また、既設の観光施設の中で、「道の駅」登録の可能性があるものについては、登録要件を満たすよう必要な整備を行い、島内周遊ルートの拠点としての機能を高めるよう取り組んでまいります。

また、上天草市から有明、五和、天草西海岸を経由し牛深に至るルート142キロメートルが「あまくさ風景街道」として、今年3月、国土交通省が推進する「日本風景街道」九州ルートの13番目のルートに認定されました。

これまでも増して、沿線の景観、自然、歴史や文化等の地域資源を生かした魅力あるルートとして活用・PRし、観光客

誘致に努めてまいります。

崎津集落を含む13の資産で構成する「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録については、天草の歴史・文化が世界的に評価されることであり、地域の誇りと自信になるものです。世界に天草の情報が発信され、来訪者の増加が大いに期待されます。

世界遺産登録を通じて、経済活性化と地域振興につなげたいと考えていますので、今後も強力に取り組んでまいります。

しかし、世界遺産となる崎津集落は、住民の生活の場所であり、信仰の場所でもございます。このため、秩序ある公開と集落の保全体制の構築が必要となりますので、本年度は、地域の皆様の意見を拝聴しつつ、全体的なプランの作成を急いでまいります。

特に崎津地区から要望の強い、駐車場、トイレなどの整備は早急に着手してまいります。

また、今富地区や大江地区のほか周辺地域の一体的な振興、交通・環境対策、生活安全・安

心のサポートなどの取り組みも必要ですので、世界遺産推進室を河浦支所に移転し、地域の皆様とはこれまで以上に連携を密にし、本格的に準備を進めてまいります。

なお、登録までのスケジュールですが、今年の8月ごろに文化審議会による国内推薦案件が決定され、平成27年1月に推薦書がユネスコへ提出されます。その後、同年9月ごろに専門機関による現地調査が実施され、平成28年6月ごろには、世界遺産委員会において最終審議、判断がなされるということです。

吉報が待たれるところですが、これに合わせて、庁内でも推進本部を軸に各部署が連携し、一丸となった取り組みを推進してまいります。

ジオパークの推進については、本市、上天草市、苓北町を構成市町とする「天草ジオパーク構想推進協議会」を設置し、天草地域全域のジオパーク認定を目ざし、取り組んでいます。去る4月30日には、横浜市で認定審査プレゼンテーションが行

われ、天草地域が持つジオパーク資源や人、くらし、歴史など潜在的な魅力をアピールしてまいります。

7月には現地審査が予定されていますので、認定を受けるために全力を傾け、一方では、認定後を見据えて、天草ジオパークの拠点と位置づけている「天草御所浦ジオパーク（御所浦地域）」の化石採集場整備のほか、各ジオサイトの整備を図り、環境の保全や情報発信、ジオツーリズムの普及、ガイド養成を進め、ジオパークに求められる地域の魅力を高めてまいります。

観光客の受け入れについては、観光客の誘導や拝観マナーの徹底などを図るため、観光ボランティアガイドを育成し、受入体制の整備に努め、引き続き、「天草島民総おもてなし運動」を展開してまいります。

また、観光のハード面の整備にも関連しますが、旅館、ホテル等をはじめとする商工業者の施設整備等を促進するために、このたび、既定の商工業設備投資資金利子補給制度を拡充し、

光、地域振興等に必要不可欠な空路を維持し、天草エアラインの安全で安定した運航を確保するため、航空機を更新し、利用促進に向けた取り組みを進めてまいります。

きめ細やかな生活支援

高齢者集落への交通弱者対策については、市内全域の交通不便地域の解消を図るため、基本方針を定めた「天草市公共交通連携計画」に基づき、予約型乗合タクシーの導入やバス路線の延伸など、関係機関と協議を重ねながら、対策を講じてまいります。

また、本市公共交通の基盤である路線バスを生活圏別に再編するとともに、病院や第3セクターの送迎バス、福祉バスやスクールバスなどの交通資源を有効活用するなど、公共交通ネットワークの再構築を目ざして

支援してまいります。

新たな人の流れを呼び込むためには、快適な道路網の整備が必要です。

熊本県が進める「90分構想」の実現に向け、熊本天草幹線道路の重要性が、ますます高まっています。

現在までに、熊本宇土道路、新天門橋を含む大矢野バイパス、第二瀬戸大橋を含む志柿町から港町までの約1・3キロメートルの本渡道路が、整備区間の指定を受け事業化されています。

残り区間についても早期に整備区間の指定を受けられるよう、沿道の市・町と協力し要望活動を展開してまいります。

そのなかで本渡道路は、瀬戸大橋前後区間の朝夕の慢性的な交通渋滞の解消と、事故・災害時の代替道路を確保するために、早期開通を目ざして関係機関との協力体制を強化し、整備促進を図ってまいります。あわせて、周辺の街路整備を行い、市街地の活性化にもつなげてまいります。



▲民生委員による見守り活動の様子

援体制づくりは、特に重要であると考えます。

高齢者の方々が、地域の中で安全に安心して暮らせるように、市民の皆様のご協力をいただきながら、日ごろからの見守り活動である「地域福祉ネットワーク事業」の拡充を図り、あわせて災害時の避難支援である「災害時要援護者避難支援対策事業」を一体的に進めてまいります。

子育て支援については、子育て世代の負担軽減を図るため、子ども医療費の助成対象を現在の「小学校3年生」から「中学

御所浦島・横浦島間の第二御所浦架橋については、救急医療への不安解消や通勤・通学時の安全確保のため、また、基幹産業である水産業の振興のために、整備促進を強く県に求めています。

また、市内の生活圏内の円滑な移動を実現するために、国道への登坂車線などの設置を県にお願いするとともに、関連する生活拠点間の市道整備を行うことにより「市内生活圏30分構想」を推進し、各拠点間の移動時間の短縮を図り、地域間交流や産業振興などのさまざまな分野での発展を図ってまいります。

さらに今回、喫緊の課題として、天草エアラインの航空機更新にかかる補正予算をご提案させていただきました。天草エアラインについては、天草地域と熊本・福岡都市圏を結ぶ唯一の高速交通機関として、天草地域の経済、観光、地域振興のほか、福岡地区等から天草地域に通勤する医師等の交通手段として重要な役割を果たしています。

校3年生」に引き上げます。

また、平成26年度に策定しました「天草市子ども・子育て支援事業計画」に合わせて、保育料徴収基準の見直しを行い、保護者負担の軽減を図り、安心して子どもを産み、育てることのできる支援を行い、子育てしやすいまちづくりを目ざしてまいります。

障がい者や障がい児の社会参加支援については、療育推進のためのモデル事業を実施します。

1歳6カ月児健診や3歳児健診において、経過観察が必要と思われる子どもさんや、就学前の困り感のある子どもさんとその保護者の方を対象に、療育機関がない地域に身近で気軽に集えるような場を設け、療育推進事業を展開し、ていねいな子育てにつながる支援を図ってまいります。

市民の健康増進については、予防医学に裏付けされた健診や治療を推進するとともに、市民が生涯にわたり活用できる運動事業やスポーツ環境などを整備

し、天草市民の健康寿命を日本一とするための施策を総合的に進めてまいります。

国民健康保険の運営については、年々増加する1人当たりの医療費の伸びの抑制が大きな課題となっています。レセプトや健診情報等を活用した医療費分析等による「データヘルス計画」を策定し、糖尿病性腎症の重症化を予防するなど、効果的な保健事業の実施により医療費の適正化に取り組んでまいります。

快適な生活環境づくり

水道事業、下水道事業については、これまで大型の投資事業が中心に行われてきました。

平成25年度末には路木ダムが完成し、水道事業での投資事業については一定の目途がたち、渇水に悩まされてきた地域でも安心して安定的な給水が可能になり、各地区の水質も改善されました。

社会保障・税番号制度については、平成25年5月の法案成立を受け、同27年10月には個人番号および法人番号の付番と通知が開始されます。

その後も同29年度の全国連携開始まで、さまざまな取り組みが実施されますが、本市におきましても、国が示すスケジュールに合わせ、平成26年度に住民基本台帳システムの改修、平成27年度以降にその他のシステムの改修を行ってまいります。



▲4月1日に給水が始まった県営路木ダム（河浦町）

そこで、水道施設の一体的な管理を行い、各地区の施設の廃止・統合を含め経営の効率化を検討してまいります。

また、水道未普及地域については、安定的な飲料水確保の施策として、小規模水道施設補助金の拡充による対応を図ってまいります。

下水道事業では、4つの特別会計で12カ所の処理場を運転・管理しており、昭和50年代に供用を開始した施設については、

大規模な更新を行う時期を迎えています。

また、浄化槽市町村整備事業においても、更新の時期を控えており、下水道のすべての施設で、維持・管理費の増大が懸念されますので、各施設の長寿命化や企業会計移行等の経営改善に取り組んでまいります。

しかし、上下水道の料金収入においては、近年の人口減少、節水機器の普及等で、減少が続いており、経営の効率化だけでは、維持・管理費や資本費をまかなうことが厳しくなっています。

今後は、上下水道料金それぞれが、市内で同じ料金になるよう調査・検討を行い、事業運営の経営健全化を目ざし改定・統一を図ってまいります。

市立病院については、4病院と御所浦地区の3診療所があります。

平成26年度からの「第2期市立病院改革プラン」に基づき、「市民が必要とする医療を提供し、市民に信頼される病院および診療所を目ざす」ことを基本

理念とし、病院経営の健全化を図ってまいります。

医師確保を重点課題とした経営改善策を今後も継続して取り組み、市民の皆様へ安全・安心の医療提供ができますよう努めてまいります。

危険家屋については、老朽化や管理が適正に行われていない空き家等で、外壁の剥離や倒壊の心配があるなどの相談が増加しています。

所有者等に対する適正管理の啓発を行うとともに、老朽危険家屋等除去促進事業補助金を創設し、危険家屋の除去を進めることにより、市民の安全と地域の環境保全を進めてまいります。

文化振興については、市民が文化芸術に触れ、文化活動に参加していただくため、各文化施設を拠点として文化団体等と連携した事業を実施してまいります。

郷土の文化継承は大きな課題となっていますが、次代を担う子どもたちへ引き継ぐことを目的に「あまくさ子ども芸術祭」

を開催し、子どもたちの郷土愛の醸成と文化・芸術活動の実践発表の場をつくってまいります。

文化財保護については、市内には国指定史跡棚底城跡をはじめとして、多数の文化財がございます。

これらの貴重な文化財は、先

地域を担う人づくり

学校教育については、基本目標のひとつに「夢や希望をもち、自ら学び心豊かに生きる人づくり」を掲げ、将来、児童・生徒が国際社会の中で生きるために必要な資質と能力を高める取り組みを進めていくことで、国際化に対応できるグローバルな人材の育成を目ざしてまいります。

そのために、本年度から段階的に小学校の教育課程に「英会話科」を創設し、低学年から英語教育を実施することにより、

人から受け継いだ財産として適切に保存・管理してまいります。

文化財は、本市固有の宝として、観光あるいは地域振興の核となる可能性を秘めておりますので、文化や歴史を軸とした観光、交流が促進されるよう積極的に整備を行い、公開、活用を進めてまいります。

児童のコミュニケーション能力の基盤を培い、国際化に対応した人材の育成を図ってまいります。

また、市内の公立幼稚園においても、歌やゲームなどに英語を取り入れ、英語に慣れ親しむ活動を行ってまいります。

学校統廃合については、引き続き「天草市学校規模適正化推進計画」に基づき、本市の未来を担う児童・生徒が、安全かつ安心して教育を受ける環境の整備を図ってまいります。



▲市スポーツ推進委員によるニュースポーツ普及の取り組み

スポーツの振興については、市民一人ひとりがスポーツ活動を通じた健康増進を実現できるような環境整備に努めてまいります。

そのため、スポーツ推進委員の方々と連携を図ったニュースポーツの普及や社会体育施設の整備に取り組んでまいります。

また、今年で30回目の節目の大会を迎える「天草国際トライアスロン大会」をはじめとする各種スポーツ大会の開催を通して、競技力向上を含めたスポーツ振興を図ることで、活力ある地域づくりを目ざしてまいります。

平成26年度 市の主な取り組みを紹介!

平成26年度の市の一般会計の予算総額は、509億4,570万円となっています。そこで、今年度の市の主な取り組みとその予算額などを紹介します（予算額は万円未満を四捨五入しています）。取り組みについての詳細は、本庁の各担当課へお尋ねください。

天草エアライン(株)の新たな航空機購入を支援

天草エアライン(株)は、天草地域における唯一の高速交通機関として、天草地域の経済や観光、地域振興などに必要不可欠な航空路を運航しています。この航空路は、都市圏から天草地域の医療機関に通勤する医師などの交通手段として年間560回も利用されており、地域の医療を支える翼とし

て大切な役割を担っています。この航空路を維持し、安全で安定した運航を確保するため、合併特例債を活用し同社による新たな航空機の購入を支援します。

天草エアライン(株)では、7月に航空機の発注を行い、平成28年1月からの運航開始を目指します。

航空機購入の支援にかかる費用：
21億468万円

（平成26年度：2億5,984万円）
同27年度：18億4,484万円）

◆購入を予定している航空機の概要
航空機名：ATR42-600（プロペラ機）
製造企業：ATR（フランス）
旅客数：48人乗り
（現在の航空機は39人乗り）



▲ATR42-600

担当課：地域政策課

交通不便地域の解消を目指して

交通不便地域の解消に向けて、路線バス利用者の動向などを調査するとともに、予約型乗合タクシーなどの新しい公共交通の導入に取り組みます。

予算額：1,646万円



担当課：地域政策課

10月から 子ども医療費の無料化を 中学校3年生まで拡大!

少子化対策、子育てがしやすいまちづくりとして、子育て世代の経済的負担を軽減し、子どもの疾病の早期治療の促進と健康の保持を図ります。

予算額：2億4,675万円



担当課：子育て支援課

環境と共生のまちづくり

環境保全については、近年、地球規模での環境問題がクローズアップされるなか、国内あるいは地球規模で、環境保全に向けたさまざまな対策が講じられています。

本市においても、平成23年度から同30年度までを期間とする



▶レジ袋削減・マイバッグ推進運動のようす

「天草市環境基本計画」に基づき、環境と調和した豊かな生活を維持し、豊かな自然を次世代に引き継ぐため、環境の保全等に取り組んでいるところです。

そこで、本年度も住宅用太陽光発電システムの設置について引き続き支援を行い、地球温暖化防止に積極的に取り組むほか、他の再生可能エネルギーの可能性についても調査・研究してまいります。

また、レジ袋の削減、マイバッグ運動の推進、菜の花プロジェクト等の取り組みなどを通して、市民の皆様の環境意識の向上を図り、ごみの減量・再資源化および海岸漂着物対策等への取り組みを進めてまいります。現在、本市が進めています汚泥再生処理施設整備事業は、老朽化した施設の更新施設として整備するものです。

本年度は、敷地造成と施設本体工事に着手しますが、環境へ

の負荷が少ない資源循環型社会の形成を目指し、施設の完成に向け慎重に進めてまいります。なお、本年度は「天草市環境基本計画」の中間目標年度にあたりますので、社会情勢の変化

職員力の向上

職員には、市民の皆様に対する「奉仕の気持ち」を持つことを徹底させてまいります。

私は、常日ごろから職員に對しまして、気くばり、目くばりを忘れぬようにと申しております。

市民の皆様の中に立ち、市民の負託にスピーディーにこたえることが「市民満足度」の向上につながるものと考えています。

職員数が減少する中、業務の効率化は進めなければなりません。限られた職員でこれまで以上

や計画の達成状況を点検・見直すとともに、引き続き、環境の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進してまいります。

の業務を行うためには、職員の接遇の向上はもとより、資質の向上にも努めてまいります。

また、市政運営にあたつては、私と職員とが一体となって取り組むことが不可欠です。職員とのコミュニケーションを密に図って、意識の共有化を図ってまいります。

特に、これからの市政を担う若手職員には、私に対して積極的に事業説明を行ってもらうなど、接する機会を数多く持つよう努めているところでもございます。

熊本天草幹線道路「本渡道路」の整備に伴う周辺道路整備

熊本天草幹線道路「本渡道路」の整備に伴い周辺道路に交通渋滞が発生しないように、周辺道路の改良や橋の建設に向けて、調査・測量・設計を行います。

予算額：1億円

担当課：都市計画課



市内全中学校に“心の教室相談員”を配置

市内13の中学校のうち6校に配置している、不登校やいじめ問題などの解決と未然防止を図る“心の教室相談員”を、残りの7校にも配置します。

予算額：919万円

担当課：学校教育課

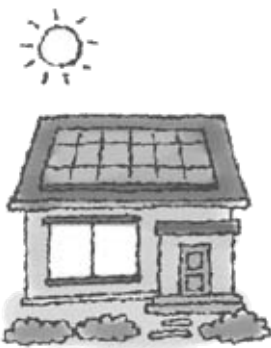


住宅用太陽光発電システム設置を補助

新エネルギーを積極的に活用した環境にやさしいまちづくりを進めるため、住宅用太陽光発電システムを設置する人に補助金を交付します。

予算額：7,600万円

担当課：市民環境課



「天草の崎津集落」世界遺産登録に向けて

来訪者を受け入れるため、富津地区内に駐車場やトイレ、案内所などを設けた拠点施設の設計を実施するほか、案内板の設置や公園の整備を行います。

また、国の重要文化的景観に選定されている崎津集落の景観保全のため、同集落の景観を形成する重要な構成要素になっている建物等の復旧や改修などを行います。

予算額：1億4,994万円



担当課：世界遺産推進室（河浦支所内）

天草ジオパーク構想の推進

天草御所浦ジオパークの充実と、天草地域を範囲とする“天草ジオパーク”の日本ジオパークへの認定を目指します。

予算額：2,204万円



担当課：ジオパーク推進室

天草産木材の利用促進

天草産木材を利用して木造住宅を新築・増改築した場合に、その建築経費の一部を助成します。

予算額：2,000万円



担当課：農林整備課

雇用拡大や処遇改善を支援

若者や女性、高齢者の雇用拡大や賃金上昇・正社員化等の処遇改善に取り組む民間企業などを支援します。

予算額：988万円

担当課：産業政策課

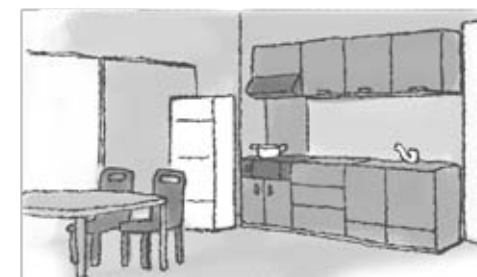


住宅リフォーム工事に助成

市内経済の活性化を図るため、住宅リフォーム工事を行う場合に工事費用の一部を商品券で助成します。

商品券は、あらかじめ登録された市内の店舗などで使用できます。

予算額：2,000万円



担当課：産業政策課

農業後継者育成のため“婚活”事業に取り組みます

農業後継者の意欲の向上と農業経営の安定を図るため、結婚相談員を配置し、婚活活動を実施します。

予算額：173万円

担当課：農業振興課



牛深地区の水産物流通荷さばき施設の統合整備を支援

水産物の流通拠点の機能強化と合理化を図るため、天草漁協が実施する牛深地区に2つある水産物流通荷さばき施設の統合整備を支援します。

予算額：1億6,080万円

担当課：水産振興課



中小企業を支援する専門相談員を配置

市内の中小企業や起業家が抱える経営課題を専門的に抽出する相談員を、本渡商工会議所内に配置します。

予算額：134万円

担当課：産業政策課



「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」 世界文化遺産の推薦候補に決定！

国の文化審議会は7月10日、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」を、平成28（2016）年に登録を目指す世界文化遺産の推薦候補にすることを決定しました。熊本県から推薦候補決定の電話連絡を受けた中村市長は、「ありがとうございました。心よりうれしく思います」とあいさつ。その後、市役所本庁舎に決定をPRする垂れ幕が掲げられ、集まった市職員から拍手が送られていました。

今後は、9月に開かれる予定の政府の関係省庁連絡会議で、正式に決定する見通しです。

▶ おおぜいの報道陣が詰めかける中、県からの電話連絡を受ける中村市長



▲市役所本庁舎に掲げられた垂れ幕

世界遺産登録トピックス

崎津地区で海岸清掃を実施！



▲清掃活動のようす

推薦候補決定から3日後の7月13日、富津地区振興会の役員や地元住民、市職員など100人が参加して、崎津地区内の海岸清掃が行われました。

住民や来訪者が気持ち良く過ごせる環境づくりを目的に初めて実施したものです。この日はあいにくの雨となりましたが、参加者は海岸にたまった流木や空き缶などの漂着物を撤去。同地区振興会の増田哲也会長は、「世界遺産の登録を見据えて、今後も定期的に実施したい」と話していました。

【問い合わせ先】本庁・世界遺産推進室（河浦支所内）☎⑦1116

副市長に金子邦彦氏 教育長に石井二三男氏が就任しました

（7月1日付け）



大好きな天草に
していきたい

教育長
石井二三男氏
（河浦町河浦・66歳）

27年ぶりに天草にて勤務することになりました。皆様方のご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

10年ほど前からでしょうか、実家に帰る途中の河浦町・立原地区に、気になる好きな看板があります。それには、“天草は今も元気ですか。私は父や母が若かったころのあの飾ることのない天草が大好きです。天草は今も元気ですか”とあります。自問自答しながらの運転。“天草”という響き、心地良さは変わらないものです。しかし、子どもたちを取り巻く社会の環境は大きく変わってきたと感じています。地域の隅々にまで響いていた子どもたちの声の減少。それを補ってくれるはずの急速な情報化の進展。なのに、携帯メール、ライン等々、大きな問題が影を落としています。学校は生命をはぐくみ栄養を与えていくところだと思います。どうか地域をあげての温かい見守りをいただき、“飾ることのない”大好きな天草にしていきたいと思います。

◆主な経歴

旧河浦町出身。昭和45年から旧本渡市立本渡南小学校教諭として着任以来、同63年3月まで天草地域の小・中学校に勤務。その後、県教育庁勤務をへて、旧植木町立田原小学校長、玉名教育事務所長、県教育庁義務教育課長、同教育次長など歴任。



職員一丸となり
市の発展に尽力

副市長
金子邦彦氏
（小松原町・60歳）

6月20日の市議会定例会において、副市長選任に対する御同意をいただき、7月1日付けをもって副市長に就任いたしました。

中村市政が目ざす「市民目線の行財政改革」「強力な経済対策」「きめ細やかな生活支援」の3つの基本姿勢を現実のものとしていくためには、新しい課題に職員一人ひとりがチャレンジ精神をもって市政の執行に当たることが重要であると考えております。

私は、これまで経験した仕事や仕事を離れた時間を通じて、市民の皆さんに育てられ、職員に支えられてきたことに感謝しているところです。そうした今の私の根幹となるものを大切にしながら、副市長という新しい視点に立って、誠心誠意努める所存です。

私一個人は微力ではありますが、職員一丸となり本市の発展に尽力してまいりますので、市民の皆様には、これまで以上に御指導・御鞭撻を賜りますようお願いし、就任のあいさつとします。

◆主な経歴

旧本渡市出身。昭和49年5月に旧本渡市職員となり、企画部合併推進室長、同部首席審議員、天草合併協議会の事務局長を歴任。平成18年3月の天草市発足から企画部長、総務部長を歴任。同26年6月退職。

老朽危険家屋の解体費用を補助します！

～まずは事前調査による判定が必要です～

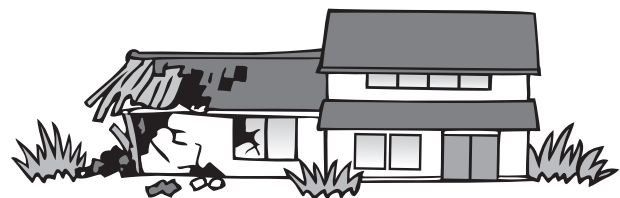
市では、市内にある老朽危険家屋の解体を促進するため、解体費用などの一部を補助する事業を創設しました。補助を受けるためには、市が行う事前調査で老朽危険家屋であるという判定を受けなければなりません。

今回、この事前調査の申し込みを受け付けます。

■申し込み期間＝8月1日(金)から同22日(金)まで（期間内でも予定戸数に達した場合は受け付けを終了します）。

■予定戸数＝12戸。

■申し込み方法＝事前調査申込書（本庁・地域政策課または各支所担当課に備え付け、市ホームページに掲載）に必要事項を記入のうえ、必要書類を添えて本庁・地域政策課へ申し込んでください。



補助事業の概要

●補助対象家屋＝市内にある家屋のうち、老朽化し倒壊や損壊などの恐れがあり、道路や隣家などに危険をおよぼす可能性がある家屋で、事前調査によって老朽危険家屋と判定されたもの。

●補助対象者（市税などを滞納していないことが条件）

次のいずれかに該当する人

①補助の対象となる危険家屋などの所有者またはその相続権利者

②①の人から同意を得た、敷地の所有者またはその相続権利者

③①の人から委任を受けた人のうち、市長が認めた人

●補助金額＝補助対象経費（解体工事費など）の2分の1の金額で、上限は50万円（千円未満は切り捨て）。

“空き家等情報バンク制度”へ登録を！

市では、市内にある「空き家」や「空き地」情報を、天草島外から移住・定住したい人に提供するため、“空き家等情報バンク制度”を設けています。これまでに、同制度を活用して市内へ移住した人は、71世帯・157人（平成26年3月31日現在）となっています。空き家や空き地をお持ちで、貸し出し・売却を希望する人は、同制度へ登録

をお願いします。詳細は、本庁・地域政策課へお尋ねください。



【問い合わせ先】本庁・地域政策課 ☎ 231111

所有・使用している家屋は 老朽危険家屋に なっていませんか

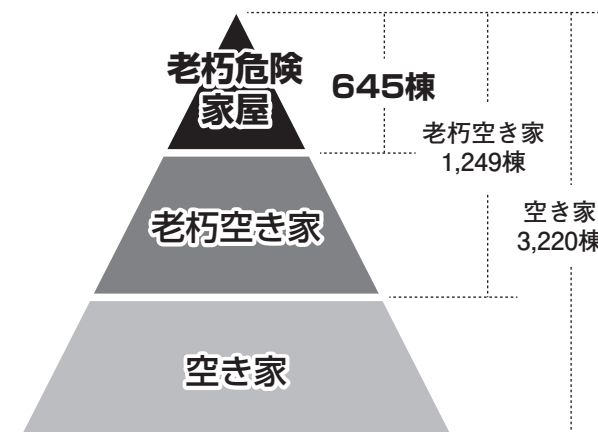
近年、適正な管理が行われず老朽化した危険家屋に関する、問い合わせや相談が寄せられています。老朽危険家屋は、倒壊や損壊によって近隣住民の皆さんや通行者を危険にさらすほか、火災や犯罪の誘発、地域の住環境にも悪影響をおよぼします。

今号では、市内の現状や危険性などについてお知らせします。

645棟が老朽危険家屋

～市内の実態調査を実施～

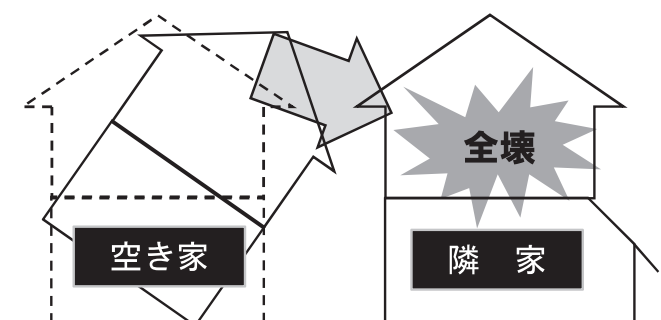
市では、昨年6月から同11月にかけて、市内全域の空き家などの実態調査（外観調査）を行いました。その結果、調査した5万7,746棟のうち空き家と思われる家屋（併用住宅や空き建築物を含む）が3,220棟ありました。また、このうちの1,249棟が、住んだり使用したりすることが不適當であると思われる“老朽空き家”であり、さらにこのうちの645棟が、倒壊や外壁の落下の恐れがあり近隣や道路などに影響をおよぼす可能性がある、“老朽危険家屋”であることがわかりました。



老朽危険家屋が倒壊し隣家に被害をおよぼしたら...

～隣家被害額の想定～

※老朽危険家屋の倒壊により隣家が全壊し、居住家族全員が死亡したケースを想定



損害区分	損害額
住宅、家財、倒壊家屋の解体処分	1,500万円
死亡逸失利益、慰謝料など	1億9,360万円

想定被害総額は
2億円超！

【隣家の概要】

●敷地面積：165㎡(50坪)
●延べ床面積：83㎡(25坪)
●建築時期：平成4年(築後20年)

●居住世帯：世帯主・40歳・年収600万円
妻・36歳・主婦
子ども・8歳の女儿(小学3年生)

出典：公益財団法人日本住宅総合センターの資料

子宮頸がん・乳がん

女性特有のがんである「子宮頸がん」「乳がん」。市のがん検診では、平成20年度から同24年度までの5年間で、子宮頸がん14人、乳がん67人が発見されています。そこで今号では、これらのがんの症状のほか、早期発見のための検診の受診などについてお知らせします。

20歳を過ぎたら要注意！ 「子宮頸がん」

「子宮頸がん」は、子宮の入り口付近（子宮頸部）にできるがんで、その原因のほとんどが性交渉により感染するヒトパピローマウイルス（HPV）によるものです。子宮頸がんの発生率は近年、20歳代の若年層で増加しています。若いころから検診を定期的に受診し、早期発見・治療を行うことが重要になります。

■症状Ⅱ初期の場合は、自覚症状はありません。進行すると、不正出血やおりものの増加、下腹部の痛みなどの症状がでます。

女性がかかるがんの中で もっとも多い「乳がん」

悪性の腫瘍が乳房内の乳腺にできる病気で、女性がかかるがんの中でもっとも多いといわれています。特に40～50歳代に多い病気で、近年は20～30歳代の女性にも増えてきています。

■症状Ⅱ初期は手で触っただけではわかりませんが、がんの大きさが0・5～1cmくらいになるとしこりになります。さらに進行すると、えくぼのようなくぼみができたり、乳頭から血液のような分泌物がでたりします。

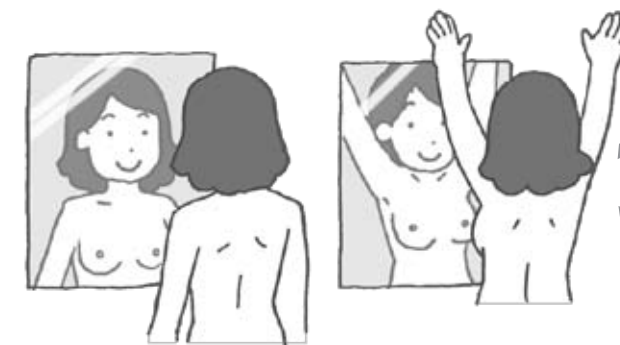
ぜひ実践を！

自分でできる“乳がん検診”

乳がんは、唯一自分で発見できる“がん”であるといわれています。毎月1回、自分で見たり触ったりして、異常がないかチェックしましょう。自己検診のタイミングは、月経が終わった4～5日目ごろです。

◆見てチェックする

- ☐ 左右の乳房に差はないか
- ☐ 乳頭に異常はないか
- ☐ 乳房の表面にえくぼのようなくぼみはないか
- ☐ 乳頭から異常な分泌物はないか



◆触ってチェックする

- ☐ 乳房にしこりがないか
- ☐ 脇の下にぐりぐりしたものはないか



※触り方は指でつままず、指の腹を小さく動かして滑らせるように触りましょう。

ぜひ 受診を！

子宮頸がん・乳がん検診のご案内〈施設単独検診〉

- 対象＝市内に住所がある人で以下の人（ただし、今年度にすでに子宮頸がん検診や乳がん検診を受診した人、または予定している人は除く）。
- 期間＝9月1日⑤～平成27年2月27日⑤まで。
- 受診方法＝各検診の指定医療機関に電話で予約をして受診してください。

子宮頸がん検診

- 平成27年3月31日現在で、20歳以上の女性。
- 無料検診クーポン券（4月下旬に該当者に送付）でまだ受診をしていない人。

〈検診の内容〉

問診・細胞診（専用のブラシで子宮頸部や膣部表面の粘膜をこすって細胞をとり〔痛みや少量の出血を伴うことがあります〕、顕微鏡で検査）・内診を行います。

＜指定医療機関＞

医療機関名	電話番号
本原クリニック	②④1175
鬼塚クリニック	②④3636
天草中央総合病院	②②0011
牛深市民病院	⑦③4171

※天草中央総合病院で受診する場合は、月～金曜日の午後2時から同5時までに電話で予約をしてください。

◆子宮頸がん・乳がん検診個人負担金

種別	69歳以下で 国保以外の人	70歳以上の人 ・国保加入者
子宮頸がん検診	1,900円	600円
乳がん検診	40歳～49歳	500円
	50歳以上	400円

※国保とは天草市国民健康保険のことです（保険証を必ず持参してください）。
※生活保護世帯の人は無料です（証明書を持参してください）。

【問い合わせ先】天草中央保健福祉センター ☎②④0620 / 天草東保健福祉センター ☎⑥⑥3355
天草西保健福祉センター ☎⑦⑤3301

乳がん検診（マンモグラフィ検査）

- 平成27年3月31日現在で、40歳以上の偶数年齢の女性。
- 無料検診クーポン券（4月下旬に該当者に送付）でまだ受診をしていない人。

〈検診の内容〉

透明なプラスチックの板で、左右の乳房を片方ずつ挟んでエックス線撮影をします。



＜指定医療機関＞

医療機関名	電話番号
天草地域健診センター	②④4166
天草中央総合病院 健康管理センター	②②0077
天草第一病院	②④3777
牛深市民病院	⑦③4171
天草慈恵病院健診センター	③⑦1730

※乳がん検診は平成27年1月30日⑤までに予約が必要です。

無料検診クーポン券 のご利用を！

子宮頸がん検診と乳がん検診（マンモグラフィ検査）が無料で受診できるクーポン券を、4月下旬に該当する市民の皆さんへ送付しています。ぜひ、ご利用ください。



▲夜市のようす

地域に密着した保護司活動の拠点が誕生

天草地区更生保護サポートセンター開所式

天草地区保護司会（鶴田紳一会長ほか、102人）は7月11日、活動拠点として「天草地区更生保護サポートセンター」を本渡町本渡の旧天草広域連合事務所内に開所しました。この日は開所式が同所で行われ、関係者など50人が出席。熊本保護観察所の川田香所長から、同センターに交代で常駐する企画調整保護司18人に委嘱状が手渡された後、鶴田会長が「犯罪のない、住みよい、明るい天草をつくりましょう」とあいさつされました。同センターは、毎週月～金曜日の午前9時から午後4時まで開所（祝日、年末年始は除く）。保護司の支援のほか犯罪・非行に関する相談を行います。詳細は同センター☎②35964へ。



▲伝馬船を体験する生徒たち

たくさんの人出でにぎわう夜市

本渡中央銀天街アーケードで夜市がスタート

本渡中央銀天街アーケードで6月28日、「銀天街夜市」がスタートしました。本渡中央商店街振興組合が、夏の夕涼みを目的に同アーケードができた昭和48年から行っている恒例行事です。この日はビンゴゲームが行われたほか、焼き鳥やピンポン玉すくいなどの露店が並び、家族連れなどたくさんの人出でにぎわっていました。

同夜市は、8月9日までの毎週土曜日の夜に開かれています。

▲同センターの看板前で記念の一枚
(川田所長〔左〕と鶴田会長〔左から2番目〕、中村市長)

ゆったりとした御所浦の海を満喫！

御所浦町で修学旅行生を受け入れ

7月1日から同3日まで、奈良県立生駒高校2年生116人が修学旅行で御所浦町を訪れました。御所浦アイランドツーリズム推進協議会が受け入れたもので、生徒たちは同町内の一般家庭や民宿など22軒に宿泊し、伝馬船やとんとこ漁、魚さばき、養殖の魚のえさやりなどを体験。伝馬船を体験した33人は、インストラクターの指導を受けながら楽しそうに櫓を漕ぎ、ゆったりとした御所浦の海を満喫していました。

歌い継がれる牛深ハイヤ節を熱唱

牛深ハイヤ節全国大会

6月28・29日、「第14回牛深ハイヤ節全国大会」が牛深総合センターで開かれ、全国から102人が出場しました。年代ごとに5つの部門を設けて予選・決勝（ジュニアの部は決勝のみ）を行い、ジュニアの部を除く各部門の優勝者で総合グランプリを競いました。

結果は、青年の部で優勝した大分県日田市の吉富今日子さんが総合グランプリを受賞。吉富さんは、「私の子どもたちの世代にも歌を引き継いでいきたい」と話していました。



▲総合グランプリを受賞した吉富さん

子どもたちが熱戦を展開

子ども交流ドッジボール大会

6月29日、有明町内の小学生の交流を目的とした「子ども交流ドッジボール大会」が有明グラウンドで開催され、12チーム・80人の児童が参加しました。下津浦地区振興会が初めて行ったもので、低学年と高学年に分かれて試合を実施。試合では、激しいボールの投げ合いが繰り広げられ、保護者からは盛んに声援があがっていました。参加した浦和小学校6年の柴田菜央さんは、「ボールが飛んできたときはハラハラ、ドキドキしたけど楽しかった」と笑顔で話していました。



▲相手の内野にめがけてボールを投げる児童

海の生き物を調べたよ！

図鑑で天草海体験

中央図書館で7月12日、子どもたちに天草の海の生き物を知ってもらおうと「図鑑で天草海体験」が開催され、親子連れなど26人が参加しました。海の生き物の調査・研究をしている“天草海部”の正角雅代さんが、自身が撮影した天草の海の生き物の写真などを紹介。その後、海中を再現した縦3m・横4mの模型が登場し、子どもたちは図書館にある図鑑を使って魚の名前や生態などを調べていました。参加した子どもは、「図鑑で調べるのが楽しかった」と話していました。



▲映像で海の紹介をする正角さん(右上)



▲短冊と花の種をつけた風船を飛ばす参加者

短冊に願いを込めて

交通安全キャンペーン「七夕作戦」

7月7日、五和町の手野保育所（全園児28人）で交通安全キャンペーン「七夕作戦」が開催されました。七夕の時期に合わせて毎年行っているもので、今年で33回目。天草地区交通安全協会の講習員による寸劇などを交えた親子交通教室や、参加者が交通安全を願って書いた短冊と花の種をつけた風船飛ばしが行われました。同保育所には後日、「風船を見つけて感激しました」という喜びの電話があったとのこと。

花いっぱい明るい地域づくり

花づくり教室

6月29日、新和町大宮地で「花づくり教室」が行われ、地域住民60人が参加しました。市と同地区振興会が、天草花咲プロジェクト（花いっぱい運動）事業の一環として、地元の人に花の植え方・育て方などを学んでもらうことを目的に実施。同地区下釜学習センターで土づくりや花の植え方などの講話があった後、大宮地バス停横にある花壇にトレニアやマツバボタンなどの花400本を植栽しました。参加者は植え終えた花壇を見て、「花は地域も心も明るくしてくれますね」とうれしそうに話していました。



▲花を植える参加者



▲海に向かって安全を祈願する長田さん

シーズン中の海の安全を願って

白鶴浜海水浴場で海開き

天草町高浜の白鶴浜海水浴場で6月29日、“海開き”が行われました。関係者や地域住民など10人が、隣接する海の家でシーズン中の安全を願って神事を実施。その後、海水浴客も参加して、心肺蘇生や消火訓練を行いました。同海水浴場を管理する長田眞さんは、「白鶴浜は、白い砂浜が広がる県内でも有数の海水浴場です。ぜひ、ご家族やカップルでお越しください」と話していました。

自分だけのオリジナル陶器を作る

陶芸教室

7月2日、倉岳地区公民館主催の「陶芸教室」が宮田地区コミュニティセンターで行われました。出前講座の一環として実施しているもので、地域住民10人が参加。参加者は、倉岳陶芸愛好会の平井利和代表の指導を受けながら、手で粘土をこねて形を作る“手びねり”で思い通りの形の陶器作りに挑戦。「難しいけど楽しい」と話しながら、熱心に取り組んでいました。同講座は7・8月にかけて8回実施され、2種類のオリジナル陶器を作るとのことです。



▲楽しそうに取り組む受講生



▲熱戦を繰り広げる参加者

スポーツで親ぼくを深める

かわうらエンジョイミニバレーボール大会

今年で20回を迎える「かわうらエンジョイミニバレーボール大会」が6月15日、河浦中央体育館で行われました。河浦まちづくり協議会が、地域住民の親ぼくを深めてもらおうと毎年開催しているもので、全5種目に51チーム・340人の地域住民が参加。各チームは熱戦を展開し、サーブで点が入ったり、力強いアタックが決まったりすると観客から歓声があがっていました。

心をストレッチしよう

社会を明るくする運動推進大会・天草市教育力活性化大会

7月12日、「第64回社会を明るくする運動推進大会・天草市教育力活性化大会」が天草市民センターホールで開かれ、450人が来場しました。同運動を啓発する作文・標語の入賞者の表彰、公民館や学校の取り組みの事例発表のほか、声優・歌手の佐久間レイさんが「みんな笑顔の講演会～命を輝かせる心のストレッチ～」と題して講演。人との出会いや自分の子どもと接する中で感じたこと、自分らしく生きることの大切さなどを歌や語りを交えながら話され、会場は終始和やかな雰囲気になっていました。



▲「何回失敗してもやり直せる。もう一回がんばってみようと思うことが大切」と話す佐久間さん



くまモンといっしょにトライアスロンを応援したよ!

本渡ふたば保育園 (旭町)

園児フォトスナップ



わーい、夏だ、プールだ、水遊び大好き!

愛隣幼稚園 (牛深町)

若っ喝采 フッガッサイ!!

松本杏菜さん
(栖本町河内・22歳)

4月から天草支援学校で働いています。仕事を始めたばかりですので手探り状態ですが、生徒たちといっしょに学び、成長していきたいと思っています。ロッククライミングの一種である“ボルタリング”が趣味です。このスポーツは、体ひとつで頭を使いながら壁を登っていくシンプルなもので、心身のリフレッシュになります。

これからも、仕事や趣味などいろんなことに挑戦していきたいです。



天草の元気が大集合! ひろば みんなの広場



おどろき夫婦

山口 俊春さん(77歳)
さちこ 祥子さん(72歳)
(久玉町)

昭和39年結婚
(50年目)

◆夫婦円満の秘けつを教えてください。

相手を思いやることです。お互いの理解があるからこそ、絆が生まれ信頼できる関係でいられると思います。また、規則正しい生活と適度な運動をすること。毎日、2人でウォーキングをして健康の維持に努めています。

◆お互いにひとことお願いします。

俊春さん：お互いに手を取りあって、元気に暮らしていきましょう。

祥子さん：今までどおり、これからも元気にがんばりましょう。

ザ・部活動

部活動がんばる中学・高校生



まずは1勝を目標に

富田直人さん
天草中学校(天草町)野球部・2年

7月に、15人の部員をまとめるキャプテンになりました。キャプテンに指名されたときは、これからチームを引っ張っていかねばならないと思いました。「みんなは一人のために、一人はみんなのために」というスローガンを掲げ、部員一丸となって野球に取り組んでいます。練習や試合では、元気に大きな声を出すこと、あいさつと返事を徹底することを心がけています。新人戦や夏季大会がこれから行われますので、まずは1勝をあげることが目標にがんばりたいです。

作品名「おおものつれたぞー!」

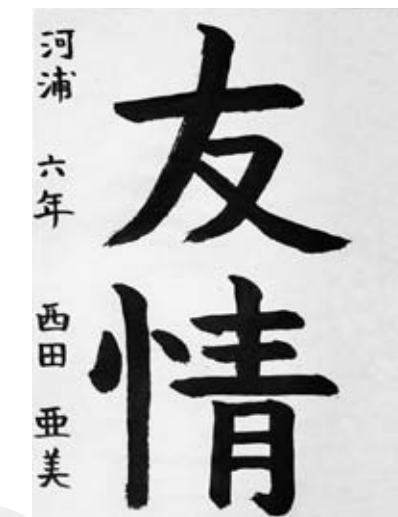
亀川小学校(亀場町)
2年 松崎敦士くん



おじいちゃんの船で魚つりをして、ぼくが大きな魚をつったところをかきました。うろこの色ぬりをがんばりました。

作品名「友情」

河浦小学校(河浦町)
6年 西田亜美さん



私は、友だちがとても大切で、いつも仲良く過ごしています。友だちに接するように優しい気持ちで書きました。



けいこ
竹田 恵子 さん
(新和町小宮地・69歳)

なかよし6人組で 手芸品づくり

薄手で光沢があるオーガンジーという生地ではなびらを表現した、市の花“はまぼう”のコサージュ（花飾り）、貝殻に和紙で装飾を施したキーホルダー、かわいらしいオリジナルキャラクターのストラップなど、ていねいな手仕事でぬくもりあふれる手芸品が並ぶ。これらの品々を製作しているのは、新和町の“宮地浦なかよしグループ”。竹田さんは、50～80歳代の女性6人で組織する同グループの代表。平成19年に、地元の女性部のメンバーが集まり、同町に伝説が残る楊貴妃の人形を製作・販売したことがきっかけで、活動をスタートした。

毎週火・水曜日の夜に、仕事や家事を終えたメンバーが竹田さんの自宅に集い、製作を実施。「パーツを作る人、仕上げの縫い付けをする人など、役割分担をして製作しています。売り物である以上、手は抜けません」と竹田さんは話す。できた品々は地元のしんわ夕やけ市場や中田港ターミナルなどで販売。「見ず知らずの人が私たちの商品を身に着けているのを見かけたときは、やっぱりうれしい。『私が作ったんです』と声をかけたいくらい」と笑顔を見せる。

「製作をしているときはみんなの笑い声が絶えることなく、すごく幸せなひとときです。これが活動をしているいちばんの理由。これからも末長く続けていきたいと思っています」。宮地浦のなかよし6人組の活動は、いつも笑顔に包まれている。



▲メンバーの皆さん

今月の

h i t o

ハッピーバースデー H A P P Y
... 今月で1歳になります ... B I R T H D A Y

投稿
コーナー



かなと
大仁田 奏人 くん
栖本町馬場
父・直人さん 母・咲恵さん

元氣いっぱいです。勇人兄ちゃん
いっしょにいっぱい遊んでね。



水本 かれん ちゃん
新和町大多尾
父・睦樹さん 母・美鈴さん

てん兄、りん姉、いつもお世話し
てくれてありがとう♡



ゆき
松本 友紀 ちゃん
天草町福連木
父・光治さん 母・美幸さん

いつも笑顔のおてんば娘ーじち
ゃん、ばあちゃんありがとう♡



かほ
馬場 香帆 ちゃん
本渡町広瀬
父・信彦さん 母・陽子さん

おかげさまで毎日にごにご元氣い
っぱい！ご飯と散歩が大好きです。



たいへい
山川 泰平 くん
五和町城河原
父・泰弘さん 母・亜衣さん

みこ姉ちゃん、いつも遊んでくれ
てありがとう☆



みゆ
小林 美結 ちゃん
楠浦町
父・宗一郎さん 母・沙織さん

かわいい笑顔ありがとう♡元氣に
すくすく育ってね♡



りんこ
岡田 凜子 ちゃん
本渡町本戸馬場
父・善幸さん 母・チカレスさん

わが家のアイドル!!すくすく元氣
に大きく育ってね♡



ななか
松本 菜々夏 ちゃん
新和町大宮地
父・哲実さん 母・哲代さん

いつもニコニコ笑顔。もりもり食
べてすくすく元氣に育ってね!!



あおい
錦戸 葵 くん
太田町
父・直樹さん 母・加那子さん

みんなを笑顔にしてくれる葵。
とボールが大好きです。 車

皆さんからの投稿を募集しています！ ●応募期限=8月11日(月)まで(必着)。

〈9月で満1歳になるお子さん〉

●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

〈読者のつぶやき〉

●応募方法=身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、150字程度をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、電話番号を記入してください(応募者多数の場合は選考)。
※表記などを統一するため、趣旨を変えずに文章を直すことがあります。
※採用されたつぶやきは、この紙面に掲載します。

〔郵送・持参先〕〒863-8631 市内東浜町8-1(郵送の場合は住所記載不要) 天草市役所・秘書課

ハエンジョイ!! ニュースポーツ!

ニュースポーツとは、誰でも気軽に楽しめることを目的に新しく考案されたスポーツのことをいいます。このコーナーでは、市が推進しているニュースポーツを紹介します。

ペタンク

ペタンクは、ビュットと呼ばれる球を目がけてボールを投げ合い、いかにボールをビュットに近づけられるかを競うものです。フランスで発祥し、ペタンクとは“両足をそろえて”という意味のフランス語の方言が由来であるといわれています。

【競技方法】

1～3人どうしで対戦し、投げるボールは1チームで6球ずつ（1人对1人は3球ずつ）です。
まず、直径35～50cmの円を描き、先攻が円の中からビュットを投げます。その後、ビュットを目がけてボールを投げ合い、すべてを投げ終わった後にビュットにいちばん近いボールを投じたチーム（人）が点数を得ます。これが1セットとなり、セットを繰り返し行い13点を先取したチーム（人）の勝ちとなります。

市では、ペタンクの用具の貸し出しを行っています。詳細は、本庁・スポーツ振興課へお尋ねください。



ペタンクを体験!

6月15日、牛深地域の市スポーツ推進委員9人によるニュースポーツの講習会が、牛深中学校体育館で行われました。地元の子ども24人と保護者などが参加し、ペタンクなど4種目を楽しみました。



牛深小学校5年 竹村 天兵くん

最初はボールを狙ったところに投げるのが難しかったけど、何回も投げるうちに慣れてきたので楽しかったです。

スポーツ全国大会出場者を紹介します（敬称略）

※市スポーツ全国大会出場補助金の申請者をもとに掲載しています。詳細は、本庁・スポーツ振興課へお尋ねください。

- 山田章大（天草高校天草西校3年）平成26年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会（山梨県：8/1～5）
- 山下朗央（天草高校3年）、山本賢志（天草工業高校2年）平成26年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会（山梨県：7/30～8/5）
- 濱中里緒（牛深高校3年）平成26年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会（東京都：8/7・8）
- 作田祐也（天草工業高校2年）2014ジャパンパラ水泳競技大会（大阪府：7/20・21）
- 酒井大和（本渡中学校1年）第37回JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会（東京都：8/26～30）

- 本多陸也（亀川小学校6年）、倉田晃士朗（本渡南小学校6年）埼玉国際ジュニアサッカー大会2014（埼玉県：7/24～27）
- 松原光希（天草高校定時制4年）全国高等学校定時制通信制体育大会第47回卓球大会（東京都：8/5～7）
- 原田龍矢、松下竜成（いずれも天草高校定時制3年）全国高等学校定時制通信制体育大会第16回バドミントン大会（神奈川県：8/18～21）
- 川崎晴陽（栖本中学校3年）、川崎結翔（同1年）、村崎敦士（栖本小学校6年）、川崎妃菜（同3年）第57回小学生・中学生全国空手道選手権大会（宮城県：8/2・3）

【問い合わせ先】本庁・スポーツ振興課 ☎ 1111

天草宝島戦略マナージャーの戸田佳奈芽です!

このコーナーでは、昨年4月に全日本空輸株式会社（通称JANA）から市へ派遣された2人の職員の取り組みを紹介します（各号1人ずつ掲載）。



客室乗務員をしていたときの上司と後輩が6月、1泊2日の日程で天草に遊びに来てくれました。2人とは約1年ぶりの再会。天草を訪れるのは上司が2回目、後輩は初めてです。

崎津教会や大江教会、キリシタンの遺物を展示している天草ロザリオ館を巡り、イルカウォッチングを堪能。五和町の天草



▶崎津教会の前で記念の1枚（左が後輩、中央が上司です）

集をしたい、海上タクシーに乗ってみたい」と張り切っていました。
天草を知り、関心を持ち、訪れ、そして好きになる。これからも、身近なところから天草ファンを増やしていきたいと思っています。

環境一考

think about "eco"

日ごろから“節水”にご協力を!

水は限りがある貴重な資源です。日ごろから意識して節水にご協力をお願いします。

ぜひ実践を! 日常生活でできる“節水”の取り組み



歯磨きにはコップを使う



顔を洗うときは洗面器を使う



シャワーはすすぐときだけ蛇口を開け、洗うときは止める。



食器や食材を洗うときは、こまめに蛇口の開け閉めをする



食器の油汚れは、紙などでふきとってから洗う



バケツやじょうろを使って洗車や水かけをする

【問い合わせ先】本庁・市民環境課 ☎ 1111

今月の料理

Vol.4 オクラと山芋のゼリー寄せ

暑くて食欲がないときは、オクラと山芋のネバネバパワーで滋養強壮と免疫力を高めましょう！

〈栄養価（1人分）〉
エネルギー：30kcal、たんぱく質：2.3g
脂質：0.1g、食塩相当量：0.7g

●材料・分量（約4人分）

- ・オクラ 40g
- ・塩 少々
- ・山芋 40cm(80g)
- ・薄口しょうゆ 小さじ2杯
- ・粉ゼラチン 小さじ1杯
- ・水 大さじ2杯
- ④ { ・だし汁 大さじ5杯
- ・薄口しょうゆ 小さじ1杯
- ・みりん 小さじ1杯
- ・ミニトマト 4個

今号の料理は、市食生活改善推進員協議会新和分会（山川元子分会長ほか、13人）が担当しました。

●作り方

- ①オクラは塩少々を振ってもみ、熱湯でさっとゆでて長さ1～2cmの小口切りにする。ミニトマトはヘタを取って洗い、半分に切る。
- ②粉ゼラチンは水でふやかしておく。
- ③山芋は皮をむいて長さ3～4cm、幅5mmの棒状に切り、①のオクラと混ぜて薄口しょうゆで下味をつける。
- ④なべに③を入れて火にかけ、煮立ちはじめたら②を加えて溶かす。その後、火を消してあら熱を取り、なべ底を冷水にあてて混ぜながら冷やす。冷めたら内側を水でぬらしたバットの中に流し入れ、冷蔵庫で冷やす。
- ⑤③を器に盛り付け、④をかき混ぜてからスプーンで上からかけ、①のミニトマトを飾る。



今月号の表紙



7月14日、本渡東小学校（全児童63人）で行われた「大声大会」のようす。参加した児童16人は、思いおもいの言葉を大きな声で叫んでいました。

宮地岳町から新和町を通る県道287号沿い、4つの支流が合流し大宮地川となる付近一帯は、**亀ヶ淵**と呼ばれるています（7月15日撮影）。大きな岩々の間を川が流れ、滝（おとし）のとどろきは迫力満点。
「涼」を求めて訪れたい景勝地のひとつです。詳細は、宮地岳地区コミュニティセンター ☎ 0969-000011 へ。



宝島スナップ



「涼」を求めて
「亀ヶ淵」
かめがふち